

令和5年第11回宝塚市教育委員会の会議（定例会）会議録

- 1 開催日 令和5年7月20日（木）
- 2 場 所 宝塚市役所3-3会議室
- 3 開会時間 午後1時45分
- 4 閉会時間 午後4時15分
- 5 出席した委員の氏名  
五十嵐 孝教育長、篠部 信一郎委員、木野 達夫委員、松浦 一枝委員及び  
石井 克馬委員
- 6 除斥した委員の氏名
- 7 委員及び傍聴人を除く、議場に出席した者  
管理部長 高田 輝夫 学校教育課長 平野 聖幸  
社会教育部長 番庄 伸雄 教育研究課長 山口 直人  
学校教育部室長 伴 康史 教育企画課係長 板垣 慎一郎  
教育研究課係長 岡坂 隆志
- 8 会議の書記  
教育企画課事務職員 中瀬 陽子
- 9 議題  
議案第16号 令和6年度使用宝塚市公立学校教科用図書採択について  
報告事項 令和6年度使用宝塚市公立学校教科用図書採択に係る調査研究についての答申の  
受領について

会議の概要

開会 午後 2時00分	
五十嵐教育長	<p>令和5年第11回宝塚市教育委員会の会議（定例会）を開催いたします。</p> <p>傍聴希望の方はいらっしゃいますか。</p>
板垣係長	<p>おられます。</p>
五十嵐教育長	<p>それでは、入室をお願いします。</p> <p>（傍聴者入場）</p>
五十嵐教育長	<p>それでは傍聴される方に、注意事項を申し上げます。</p> <p>教育委員会の会議を傍聴される方は、宝塚市教育委員会傍聴人規則の規定により、次の行為が禁じられています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>（1） みだりに傍聴席を離れること。</li> <li>（2） 私語、談話又は拍手等をする事。</li> <li>（3） 議事に批評を加え、又は賛否を表明すること。</li> <li>（4） 飲食をすること。</li> <li>（5） 許可を受けないで撮影、録音等をする事。</li> <li>（6） その他会議の妨害となるような挙動をすること。</li> </ol> <p>以上の規定を守らない場合には、私から注意を促し、改めない場合は退場を命ずることがあります。</p> <p>退場を命ぜられた傍聴人は、速やかに退場しなければなりません。</p> <p>また、会議の進行の妨げになりますので、審議途中での会議室への入室、退室はできません。入室及び退室は、係員の指示に従ってください。</p> <p>よろしく願いいたします。</p> <p>本日の署名委員は篠部委員でございます。よろしく申し上げます。</p> <p>本日の付議案件は、議決事項1件、議決事項以外の案件1件です。</p> <p>それでは、進行について事務局から申し上げます。</p>
板垣係長	<p>本日の付議案件は、議案第16号 令和6年度使用宝塚市公立学校教科用図書の採択について、報告事項 令和6年度使用宝塚市公立学校教科用図書採択に係る調査研究についての答申の受領についてです。</p> <p>議案第16号及びこれに関連する答申の報告については、一括での審議</p>

をお願いいたします。なお、資料に記載されている宝塚市公立学校教科用図書選定委員会委員名に関しては本年8月末まで非公開のため、審議の際は取扱いにご注意ください。

ご審議のほどよろしくをお願いいたします。

五十嵐教育長

それでは議案第16号 令和6年度使用宝塚市公立学校教科用図書の採択について、報告事項 令和6年度使用宝塚市公立学校教科用図書採択に係る調査研究についての答申の受領について、先ほど事務局からありましたように、審議の際は宝塚市公立学校教科用図書選定委員会委員名の取扱いにご注意ください。

それでは、担当課より一括して説明をお願いします。

山口課長

議案第16号 令和6年度使用宝塚市公立学校教科用図書の採択について、報告事項 令和6年度使用宝塚市公立学校教科用図書採択に係る調査研究についての答申の受領について、提案理由及び内容をご説明いたします。

本件は、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条の規定等に基づき、令和6年度に宝塚市立小学校、中学校及び特別支援学校で使用する教科用図書を採択するものです。採択の基本方針（別紙1）の1から4に記載しておりますように、（1）小学校用教科書につきましては、すべての教科書について令和4年度に文部科学省の検定に合格したものの中から採択替えを行います。（2）中学校用教科書につきましては、昨年度文部科学省の検定を受けた中学校用教科書がなかったことから、文部科学省通知に基づき、令和2年度に採択した中学校用教科書と同一のものを採択いたします。（3）特別支援学校及び特別支援学級で使用する教科用図書、いわゆる一般図書につきましては、児童生徒の障碍の種類、程度、症状に応じるよう、毎年、採択替えを行うこととなっておりますので、本年度も新規提案本の採択を行います。

これらの基本方針に沿って、小学校用教科書につきましては別紙5および資料1を参考にいただき、ご協議の上、採択しようとするものです。中学校用教科書につきましては、別紙4に掲載しているものを採択しようとするものです。最後に、一般図書につきましては、調査研究報告書に基づき、

児童生徒一人ひとりの障害の種類や程度、症状に応じた一般図書を、別紙6「令和6年度使用学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書調査研究報告書」のとおり採択しようとするものです。

調査研究にあたりましては、令和5年5月2日の教育委員会で決定をいただきました（別紙1）「採択の基本方針」および（別紙2）「小学校用教科書の採択方針」並びに（別紙3）「学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書の採択方針」に基づき、宝塚市公立学校教科用図書選定委員会において、適正・公正な手続のもと、専門的かつ綿密な教科書研究を行っていただきました。

7月5日、6日、12日の3日間にわたって開催いたしました選定委員会では、小学校用教科書11教科および一般図書の調査員から、調査研究に関する報告を受け、その内容について協議を行いました。

小学校用教科書においては、（別紙5）答申および（資料1）調査研究報告書に掲載しておりますように、昨年度に文部科学省の検定に合格した教科書発行者から発行される、ほぼ全ての教科書について、各教科7名ずつの調査員会で、それぞれ8つの観点について調査研究を進めました。観点の1つ目は、カリキュラム・マネジメントを効果的に進める配慮がなされているか。2つ目は、学習指導要領の三つの柱に沿った内容になっているか。3つ目は、これまでの教育実践の蓄積に基づく授業改善の活性化につながるものであるかどうか。4つ目は、学習意欲の向上につながる工夫がされているか。5つ目と6つ目は、各教科の調査員会で協議して設定した、教科独自の観点が満たされているか。7つ目は、宝塚市教育振興基本計画の「生きる力」を育むための6つの基本方針の達成に適した内容であるか。8つ目は、言語や挿絵等の表現や全体構成、体裁についての配慮がなされているかです。8つの観点のそれぞれで、宝塚市の子どもたちが使うにあたって、十分満たされると判断できた項目には「A」、満たされていると判断できた項目には「B」、満たされていないと判断できた項目には「C」と評価をしています。それぞれの評価に対するコメントも記載しています。詳しくは「資料1 教科用図書調査研究報告書」をご覧ください。

次に、一般図書についてです。本市の特別支援学級に在籍する児童生徒と、養護学校の小中学部及び高等部に在籍する児童生徒を合わせて、合計863名となっています。これは宝塚市立小・中・特別支援学校全員の5パーセントにあたります。このため、小・中学校の特別支援学級では、重度重複障害のある子どもから、知的発達には課題のない子どもまで、多様な子どもたちが同じ教室で学ぶ状況となり、指導の困難さが増しています。この実態を踏まえた上で、一人ひとりの教育的ニーズに応じた一般図書の選定が出来るよう、適切でない本は削除し、削除した本に代わる内容の新規提案本について調査研究を重ねた経緯が報告されました。その中で、今年度力を入れた分野は、①ひとりひとりの可能性を引き出すために、児童生徒が日常生活との関連・つながりをより意識・体験し学ぶことができるかどうか、②中学校の課程を修了したのちの進路選択・決定を見据え、下学年時より継続的に反復学習に取り組みやすいかどうか、という点です。今年度の新規提案本は15冊です。

説明は以上でございます。

よろしくご審議の程、お願いいたします。

五十嵐教育長

ありがとうございました。

一括して説明を受けました。小学校用教科用図書の個別の教科については、後ほど審議いたしますので、最初に全体を通して、何かご質問等ございますか。

委員

(なし)

五十嵐教育長

それでは、小学校用教科用図書について、1教科ずつ審議を進めます。

まず、国語から審議していきます。委員の皆さんご意見ございましたら、それぞれお出しください。よろしくお願ひします。

松浦委員

私は総合的には光村図書が非常にいいなと思ひました。まず、教科書の入り方ですが、扉の部分にすごく詩的な短文がありまして、そこの一語を取り出してサブタイトルが付けられています。1年生の「友達」や5年生の「銀河」、6年生の「創造」等、その導入がすごく魅力的だと思ひました。レイアウトもすっきりして、余白もきれいで読みやすく見やすい

教科書だなと思いました。それから採用されている「文章」「お話」「詩」について、作品が非常に幅広く、例えば5年生だったと思うのですが、詩が「まどみちよ」「三好達治」「ジュール・ルナール」「寺山修司」までとても幅が広く、子どもたちが多彩な作品に触れることができると思いました。あと、言葉そのものについて、言葉は標記であったり音であったり五感であったり色んな面白さや働きがあると思うのですが、そういうものを総合的に学んだり語彙力を増やすというところにも工夫がみられてとても良いと思いました。

それから総合的に良かったのは光村図書ですが、もう一つ注目したのは教育出版の6年生です。哲学対話が出ていて、これはとてもいいなと思いました。子どもたちは、問いに対する答えを考えるとというのが学習活動ではほとんどだと思うのですが、問いそのものを発見するという試みだと思います。今日答えが見つからなくてもいいという対話や話し合いはあまり経験していないと思います。問いを自分で考えるという事で、すごく思考を深める経験になると思います。哲学研究の若手で永井玲衣さんという方が「水中の哲学者たち」という本を出しているのですが、その中で小学生の哲学カフェというのが出てきます。小学生に哲学なんて難しいと思われがちですが、むしろ子どもたちの方が難しいイメージを持たずに、そういう問いの発見を体験していくのを素晴らしいと思い読んだので、こういうのが広がっていけばいいなと思って見ていました。

五十嵐教育長      ありがとうございます。他にご意見ございませんか。

石井委員          はい。

五十嵐教育長      では石井委員お願いします。

石井委員          使い方の部分になると思うのですが、QRコードのところで東京書籍のQRコードでのリンク先が面白いと思いました。いままで実際の授業でどう使われているのか、それは先生方にお任せですか。教育委員会としてどういう使い方を推進されていますか。

山口課長          教科書に記載されている二次元コードにつきましては、教科書の内容とリンクした発展的な意味合いですとか、より子供たちの学びに向かう力で

すとか学習に対する意欲をさらに喚起するような内容というものが多く掲載されていると捉えています。QRコードについて学習單元の中でどう扱うのかという部分は、授業をされる先生方の裁量に任されている部分ではあります。特にこの部分に関して全部使うよう指導している訳ではありません。

石井委員 報告に書かれてある二次元コードに関する内容はどう捉えたらよいですか。使うものとして捉えるのか。

山口課長 先ほど学習意欲の向上につながるという部分で、これを上手いこと活用することで子どもたちの学習に対する姿勢を引き出しやすいという部分や、教科書に既に記載されている学習事項をさらに理解を深めることに役に立つという部分で評価をしています。

石井委員 分かりました。プラスアルファとして使うと考えればいいですね。

報告書に書かれているとおり、光村図書の項目の色分けがやや見づらいというのは僕もちよっと感じました。

東京書籍の表紙に統一性がないという意見は、デザインのことですか。表紙、物語部分の表紙なのか、本自体の表紙なのか。表紙に統一性がないのは問題なのか。

木野委員 統一性が無いと言えないし。

五十嵐教育長 どの表紙ですか。

松浦委員 学年で画風を変えていると思います。

五十嵐教育長 光村図書のそれぞれの本の初めに「たんぼぼ」「赤とんぼ」と書いてありますが、それと関連して「輝き」とか「銀河」とかについて、テーマを持って表紙は書いていると思います。その中身と関係するかと言うと、学年の発達段階に合わせたような表紙の描き方をしているんだと思います。

木野委員 統一性が無いことは気にはならないです。

石井委員 赤と緑の色使いが見にくいと思いました。ただ、検定は通っているので問題ないですね。

松浦委員 私は気にならなかったです。

五十嵐教育長 私も現場で教鞭を執っていた頃を考えると、当時からすればカラフルに

はなっていますが、色調自体は抑えているので、それほど気にはならなかったです。

他にご意見はありますか。

木野委員 選定委員の評価も光村図書にAの評価が多いのですが、私も印象としては工夫がされていることと、全部の教科書を数えたわけではないですが詩が多く、良いのではないかと思います。全般的にバランスがとれていると感じたのは光村図書でした。

五十嵐教育長 他にご意見よろしいですか。

今いただいたご意見をまとめますと、国語は光村図書出版でよろしいでしょうか。

委員 (承認)

五十嵐教育長 ありがとうございます。

では続いて、書写の審議をします。

書写は3社ですね。それでは委員の皆様、ご意見があればお願いします。

松浦委員 この3社の中で、左利きの子どもの持ち方というのが写真で説明されているのが東京書籍だけだったんです。今、左利きというのが昔ほど直さないといけないという認識が少なくなり、私の印象では左利きの人増えてきていると思うのです。すごく大事な配慮だと思いました。その配慮が出来ていたのが東京書籍だけでした。

五十嵐教育長 ありがとうございます。

他にございませんか。

石井委員 毛筆硬筆のところですが、どちらを重点的にしているのかというのは市の基準としてありますか。これも先生任せですか。

山口課長 私も中学の国語科の教師ですが、基本的には毛筆をメインにはしつつ、実際は子どもたちが書くシーンが多いのは硬筆です。お手紙を書く時でもそうですが、筆ペンなど多彩なペンの形状を扱えるようにということを主眼には置いています。特にどちらかを主体で教えましょうと指導している訳ではないです。ただ授業時間数として毛筆の機会の方が多いいと思います。

石井委員 硬筆であれば、教育出版がいいなと思いました。

- 五十嵐教育長 他にご意見ございますか。
- では、篠部委員。
- 篠部委員 学習指導要綱の三つの柱に沿った内容というところで、東京書籍が評価が高いですし分かりやすいので良いと思いました。
- 五十嵐教育長 他に、ご意見はよろしいでしょうか。
- では木野委員。
- 木野委員 3社とも工夫されていていいと思いますが、選定委員が検討しておられるので選定委員のAの多い東京書籍で良いと思います。
- 五十嵐教育長 ありがとうございます。
- ではご意見も出尽くしたと思いますが、委員のご判断では書写について東京書籍ということによろしいでしょうか。
- 委員 (承認)
- 五十嵐教育長 では続いて社会の審議に入りたいと思います。
- 地図も一緒に審議するのですか。
- 山口課長 地図は別で審議します。
- 五十嵐教育長 社会の方は3社となっております。それでは委員の皆様、それぞれご意見があれば出してください。
- ご質問もあれば併せてお願いします。
- では、篠部委員お願いします。
- 篠部委員 どれも写真が沢山入っていて絵も多いのですが、写真の流れと説明は日本文教出版が1番分かりやすいと思いました。
- 五十嵐教育長 ありがとうございます。
- 石井委員お願いします。
- 石井委員 確認ですが、社会的諸課題というところで日本文教出版だけA評価ということですが、何か他社との違いがあるということですか。
- 山口課長 調査研究報告書の方にも未来につなげるというページが組み込まれているのですが、発展的な学習への展開について、SDGsを意識しているというところで調査員が独自に設定した「社会的諸課題を自分の事として捉える」という観点に非常に合致したということでA評価となりました。

- 石井委員            ありがとうございました。
- 報告書の項目「資料活用能力が育成されるよう、豊富な資料とともに活用の方法が示されているか」がB評価ということで二次元コードのことが書いてますが、確かに日本文教出版のQRコードには説明がありませんでした。ただ、QRコードを読んでどこにリンクするのか分からなければ、何か説明がなければ子どもたちは読まないと思います。授業で使うのであれば特に説明がなくても良いのですが、先生方が全てのQRコードを読む時間があるのでしょうか。また自主的に勉強することを想定しているのであれば、日本文教出版のQRコードは子どもたちは読まないと思いました。
- 五十嵐教育長        私も小学校で教えていた経験からいうと、社会科の場合では教材研究する段階で、どのような資料を授業の中で使うかということは教師の頭の中で描いていると思います。二次元コードの使い方についても授業の初めにどのような場面で、どんな形で、と活用することは考えた上で授業していると思います。あまり丁寧に説明が無いとしても、活用はできると思います。いずれにしましても、教師がどのように使うかということはずごく大事だとは思っています。
- はい、松浦委員お願いします。
- 松浦委員            私は日本文教出版の学習するステップみたいなものは、非常に分かりやすいと思いました。それと物事を「空間」「時間」「関係」の視点でみるというのをマークで付けていて、その視点も面白いと思いました。
- 教育出版社も学びの手引きと言うのが「集める」「掴む」「読み取る」「表す」という整理の仕方がとても分かりやすいですし、教科書の中で憲法改正なども両論併記されているところが非常にいいと思いました。
- 五十嵐教育長        ありがとうございます。他にございますか。
- では、石井委員。
- 石井委員            歴史ですが、特に古代のあたりに大分違いがあるのですが、今使っている教科書が変わった場合、学校として教える内容を変えていくということですか。
- 松浦委員            教科書が厚い、薄い、ということですか。

- 石井委員 始まりの部分です。
- 五十嵐教育長 取扱いが少し違いますが。時代区分に大きな差があるわけではないですね。
- 山口課長 社会科の高学年で歴史の授業を扱うことが多くなり、その中で古代のところには差異があるということですが、2学年に渡って授業することはほぼないと思いますので、例えば今年5年生が古代のところを学習した児童が6年生になって教科書が変わり、古代の教え方が大分違うという祖語は起きないと思います。
- 石井委員 そうではなく、今教えている内容と変わってくる可能性があるということですが。
- 山口課長 難しいところではありますが、先生方が資料の少ない古代について色々な捉え方がある中で、学者の中でも解釈が分かれるところですが、多様な見方があるという、前の教科書ではこういう教え方やこういうケースがあったがこう捉えているところもある、という教え方になるかと思います。
- 石井委員 子どもたちには古い教科書の話をする必要はないと思います。実際は先生方が、切り替えが出来るのかということ。これを使います、という告知だけで、研修をするわけではないですね。
- 五十嵐教育長 今話を確認すると、単元の切り口が違ってますね。どの教科書を使っても歴史を学習したことの差がでることはありません。子どもたちがどんな興味関心を示してどこに注目して学習していくかは差がでるかもしれませんが、石井委員が心配されているようなことはなく、大丈夫かなとは思っています。
- 木野委員 検定を通っている段階でクリアされているので、そこは問題ないと思います。
- 五十嵐教育長 分厚さが違いますので、取扱方には差がありますが、検定をとっていることから言えば、中身に大きな差はないと思います。切り口の問題と、どこに重点を置いて子どもたちに考えさせるかというところで差がでると思いますので、ご心配いただくことはないと思います。
- 他にご意見ございますか。

よろしいでしょうか。今のお話をまとめますと日本文教出版になりますが、それでよろしいでしょうか。

委員 (承認)

五十嵐教育長 それでは社会は日本文教出版で決定させていただきます。

続きまして、地図になります。地図は2社になります。地図についてはいかがでしょうか。帝国書院と東京書籍ですね。

地図については、小学校の場合、中学年以上で使うという前提です。

石井委員 地図に関しては、そもそもボリュームが違ったので、何故こんなに違うのかと思いました。ボリュームが違う分、中身の挿絵の量も全然違ったのですが、特に決まりはないですね。

五十嵐教育長 はい。

石井委員 帝国書院が良いと思いました。統計のグラフのところでは数字だけではなく、グラフを載せる余力がある感じがしました。

五十嵐教育長 確かに情報量としては差があると思います。逆に東京書籍は、それだけ精査されたのかもしれませんが。

地図については石井委員から帝国書院の方が情報量があってよいのではないかということですが、他にご意見はございませんか。

では、木野委員。

木野委員 情報量もそうですし、見やすさの観点からも帝国書院が良いと思います。

五十嵐教育長 ありがとうございます。それでは他にご意見無いようですし、地図は帝国書院をお願いします。

委員 (承認)

五十嵐教育長 続きまして、算数の方の審議に入りたいと思います。

算数の方は会社が多く、6社ということになります。ご覧いただいてご意見あればお願いします。

松浦委員をお願いします。

松浦委員 私は算数がとても苦手だったのですが、最初に分数でつまづいた経験がありましたので分数のところでは比較をさせていただきました。一番分数のところは分かりやすかったのが啓林館でした。半分、 $1/2$ というところ

でバリエーションの提示があり、すごく分かりやすかったのです。また、算数は将来どういうことに役に立つのか、という一番疑問を持たれやすい科目と思うのですが、様々なお仕事インタビューを通して意外なところで算数が役に立つのが示されていて、学習意欲にも繋がり良いなと思いました。

五十嵐教育長      ありがとうございました。

                    他にご意見がございましたらどうぞ。

石井委員          算数に関してはデジタル教科書のことを考えないといけないと思ったのですが、そこを考えた時、大日本図書が良いと思いました。手書きでタブレット上での学習を完結するというので、単にQRコードからアクセスして授業を見せる、解き方を見せる、ということではなかったです。その文言は報告書の中にはなかったのですが、デジタル教科書についてはどこかに含まれているんですか。

山口課長          基本的には、今回の教科書採択について英語科を除いてデジタル教科書に関しては調査対象としていません。英語科については来年度に全児童生徒用のデジタル教科書が使えるようになるということで今回調査研究の一部に加えることができるという文科省から示されたため、調査研究でも見ていただいたところですが、数学科のところでは基本的には本の内容で調査していただいたということでした。

石井委員          でもこの教科書を4年間使うんですよね。

山口課長          基本的にはデジタル教科書ですけども、使い勝手の部分などあると思うのですが、あくまでも教科書に書かれた内容で子どもたちにふさわしいものを選定するために調査研究をしていただくという形と理解しています。

石井委員          あと、啓林館で目当ての文章のところちょっと難しいと思うのですが。

五十嵐教育長      単元の目当てのところですか。

石井委員          単元のところですか。

松浦委員          目当てのところはあまり気になっていなかったんですが、啓林館の問いということころは、すごく生活に則してイメージしやすい問題が多いなと思いました。

- 石井委員 6年生は難しいことを記載していると思って。
- 五十嵐教育長 6年生は、基本的に難しいです。
- 木野委員 目当てのところは気にならなかったのですが、啓林館の最後に「振り返ろう」のところは簡潔で分かりやすいなと感じました。
- 五十嵐教育長 あらためて見たのですが、難しいとは思わなかったです。簡潔に表現されているので良いのかなと思ったくらいです。6年生なら、他の会社でも同じような内容になるかと思いました。
- 今ご意見がございましたが、それも踏まえて6社検討していただきたいと思います。
- 木野委員 全社見ましたが、例えば大日本図書が1年生で同じ仲間を猫が3匹とか、どの会社もそういう表現から出発するんですが、大日本図書は猫なのか何なのか動物が分かりにくかったりして、そもそもスタートからつまずいてしまうんじゃないかと思いました。啓林館はすごく区別がはっきりしているので、何が何匹、何が何個というのが分かりやすいという印象がありました。
- 石井委員 あと宝塚市の「生きる力を育むため」というところで啓林館だけがA評価ですが、ここは評価について何か理由がありますか。
- 山口課長 啓林館が振興基本計画のところでもA評価としている理由として、調査報告書にもありますが、3年生以上の「わくわくSDGs」という項目があり、算数という答えはこうだという正解がありますが、そうではなくて、答えは一つに定まらないところを算数的なアプローチをして考えていこうという工夫のところでもA評価ということになりました。
- 五十嵐教育長 選定委員からの意見の中で、宝塚の子どもたちの学力学習状況調査の結果、小学校6年生の算数については数学的な見方、考え方については課題があった、それを克服するような構成がされている内容のものをということで選定の中でA評価なのかな、と思いました。
- 石井委員 確かにその下にある、啓林館の5年速さの単元で「単位量あたりの大きさを使って」と目当てが書いてありますが、この言葉が理解できる子は解ける。それを理解させるように数学的思考を、宝塚市として伸ばしていこ

うとするなら良いのですが。例えばレベルの高い教材を使って学力を伸ばそうとするのか、宝塚市としてどういう方向にいくかということだと思います。

五十嵐教育長

これまでの学力調査の結果だけですが、比較的宝塚市は算数数学の結果は良いです。その中で、小学校ではここである「単位量あたり」という概念がなかなか難しく、ある学校では低学年から「1あたり」という考え方を算数の中で取り入れています。「単位量あたり」が難しいのは確かですが、高い目当てに無理やり引き上げようとしているのではなくて、皆に分かるようにということと、どうやってかみ砕いていくかということ、日々学校現場では努力して研究しています。他の教科書をも、そこまでかみ砕いたものはないと思いますので、石井委員が心配されているようなことは起こらないと思います。

他にご意見ないでしょうか。

様々な意見が出ており、6社の中から選ぶのは大変なのですが、今のところ調査委員の評価に則って選ぶなら、啓林館ということになります。意見があればいただきたいのですが。啓林館でよろしいでしょうか。

委員

(承認)

五十嵐教育長

それでは算数の方は、啓林館で決定いたします。

続いて理科の審議をしたいと思います。理科は5社になります。

では、ご意見があればお出してください。

松浦委員お願いします。

松浦委員

東京書籍と大日本図書が、「学びのプロセスについて課題の発展」から「仮説」「実証実験」「まとめ」「次の課題」といったところが進めやすく、また振り返りやすくなっていると思いました。東京書籍は、探検部というコラムで理科の関心を広げられる工夫がみられました。大日本図書は、「サイエンスワールド」などで科学者の言葉をとおして日常生活や他の教科とも繋いで考えられる工夫が、良いと思いました。

五十嵐教育長

ありがとうございました。

石井委員お願いします。

石井委員 東京書籍と大日本図書で「サイエンスワールド」は良いと思いました。あと実験を重視するかどうか、だと思いますね。実験の手順からいくと、東京書籍が良いと思いました。あと文字も大きく、実験室で広げながら見るのにやりやすいので東京書籍がいいと思いました。座って座学をするなら大日本図書がいいと思いました。授業での使い方によって分かれると思います。

五十嵐教育長 ありがとうございます。

篠部委員お願いします。

篠部委員 東京書籍の書き方が、「問題-実験-まとめ」と一貫して内容が揃っているのは見やすいと思いました。学年が変わっても同じような書き方で、見やすいと思いました。

五十嵐教育長 ありがとうございます。

木野委員お願いします。

木野委員 大日本図書と東京書籍が、実験のあたりが工夫されていて、この2社が良いと思いました。

五十嵐教育長 ありがとうございます。

小学校は教える先生も理科が苦手だという方も多くいて、教科書の構成はそういう意味でも大事で、今、話題になりました2社ともに説明も的確で余分なものがないのでやりやすいと思います。

今の話の中では、東京書籍という声が強かったと思うのですが、それに異議がなければ決定したいと思います。理科については、東京書籍でよろしいでしょうか。

委員 (承認)

五十嵐教育長 では、理科は東京書籍に決定いたします。

続いて、生活科の審議をいたします。

生活科についても、6社と教科書会社は多くなっております。1・2年生が使用しますので、調査員も子どもたちの気づきという点を大事にした調査研究を進めたようです。

ご意見があればお出してください。

- 石井委員 石井委員をお願いします。
- 石井委員 低学年が使うということで、大日本図書のタブレットの導入が良いと思  
いました。また、教科書に書き込める、という部分では大日本図書が良い  
と思いました。
- 五十嵐教育長 ありがとうございます。
- 松浦委員 松浦委員をお願いします。
- 松浦委員 光村図書のヨシタケシンスケさんの挿絵とか、4コマ漫画みたいなスト  
ーリー性のあるものが入っていて、それがすごく親しみやすく、なおかつ  
成長ってなんだろうという核心をついた問いかけがされていて、特に低学  
年の子どもたちが使用する教科書なので、そこに好感を持ちました。
- 五十嵐教育長 今、お二人から意見がありました。他にご意見はございませんか。
- 石井委員 石井委員。
- 石井委員 これもタブレットですが、学研の図鑑ライブが見れるのはどこの出版社  
でしたか。啓林館でしたか。
- 五十嵐教育長 啓林館です。
- 石井委員 あれが使えるならすごくいいと思います。
- 五十嵐教育長 ウェブコンテンツについては、今の環境であれば使えます。  
評価の一番下の全体構成の部分で、ウェブコンテンツなどの活用などを評  
価して、啓林館はA評価なのだと思います。
- 石井委員 学校に視察に行ってもタブレットを使う様子があまり見受けられないの  
で、果たしてこれが活用されるのかという不安がある。しかし、低学年の  
子どもたちが自由にタブレットを広げてコンテンツを頻繁に活用すると、  
それはそれで大変ではないかと思ます。その辺り、何か使用についての  
ルールがない場合、活用の推進が進むのかが不安です。
- 五十嵐教育長 タブレットも含めてICT機器を積極的に使うというのが方針ですので、  
まずは使ってみて、それで問題が起こればそれに対してどう対応していく  
か、ということを考えていきたいと思ます。
- 石井委員 子どもたちはウェブコンテンツの活用が好きですね。
- 五十嵐教育長 今でも生活科では、子どもたちがタブレットを持って校内うろうろして

- いると思います。結構低学年でもタブレットが使われる教科になりますね。
- 石井委員 カメラを使っているのは、学校ではよく見かけますね。
- 五十嵐教育長 カメラはよく使います。
- はい、木野委員。
- 木野委員 低学年で生活科ということなので、何を重視するかによって変わってきますし、各社それぞれ工夫をされていて、決め手がなく難しいというのが正直なところです。
- 五十嵐教育長 松浦委員。
- 松浦委員 今、タブレットの話題がありましたが、先日、ICTの研究の会合に出た際、朝顔の観察も以前までは絵を書いていたものが、現在は写真を撮ってコメントを書き入れているのを見ました。そういう活用を考えると、タブレットのところを積極的に採用するというのも良いと思います。
- 石井委員 カメラを使うことと、ウェブコンテンツを皆が見るとなると、ネットの容量が心配になりますね。
- 木野委員 容量が厳しいかもしれませんね。
- 篠部委員 一斉につなぐとね。
- 石井委員 2クラス繋ぐと容量がオーバーする、という事がどこかの学校で起きていませんでしたか。
- 木野委員 第一中学校ですね。
- 五十嵐教育長 Wi-Fi環境は、今、例えば同時に数クラス、数学年ネットに一斉に繋ぐと容量オーバーするという状況ですか。
- 山口課長 小学校1年生が、タブレット開きとって初めてのログインをした時に立ち合ったが今まで一斉にログインをしたりウェブコンテンツなどを見ると、どうしても回線容量的に止まったり、ログインできなかった子たちがいるということもありましたが、今回、一斉にログインするのではなく順次ログインする形で接続をすると、非常にスムーズにログインができたみたいですね。一斉にログインとなると回線容量的に制限がかかりますが、子どもたちが自分の見たい時に順次進めていくということであれば、負荷分散は十分できているようです。

- 五十嵐教育長      という事務局からの説明ですので、ICTの活用はどんどん進めていき  
たいと思いますし、生活科でも有効に使用したらいいと思います。
- 評価の中で、「これまでの教育実践の蓄積に基づく授業改善の活性化」  
というところでは、生活科は長い間実践されてきており、各学校の積み重  
ねと、それが活用できる単元構成を見られての評価ではないかと思いま  
す。そういう意味では、啓林館の構成が宝塚市の先生からは評価され、子ども  
たちが馴染みやすいのかなと思いました。
- 他にご意見はございますか。
- 色々ご意見をいただいているのですが、先ほどのウェブコンテンツをは  
じめ今の実践の内容からいきますと、啓林館だと思いますが、ご意見はい  
かがですか。
- 石井委員            学校のネット環境が整備できているということなら、良いと思います。
- 五十嵐教育長      特に反対がなければ、啓林館ということでもよろしいでしょうか。
- 委員                    (承認)
- 五十嵐教育長      では、生活科は啓林館で決定します。
- 続いて、音楽の審議に入ります。音楽は2社になります。
- ご意見があればどうぞ。
- 松浦委員、お願いします。
- 松浦委員            教育芸術が、歌詞の様子を思い浮かべながら歌いましょうということで、  
歌詞に「ふわり」や「ざぶーん」のところにマークがあり、すごく情操へ  
のアプローチがあると思いました。また、音楽の持つ力や音楽の役割とい  
うことも含まれていて、そういったところもいいと思いました。
- 五十嵐教育長      ありがとうございます。
- 篠部委員お願いします。
- 篠部委員            教育芸術ですが、表紙の絵を漫画家が描いているので、内容というより  
もとつき易さで子どもたちが教科書を開いてくれやすくなっているの  
で、その部分がいいと思いました。
- 五十嵐教育長      ありがとうございます。
- 石井委員お願いします。

石井委員 調査研究報告書では、教育出版には指揮法が取り入れられている、と評価されている部分があったのですが、音楽を知るうえで指揮法は絶対必要なものですか。興味ある子だけやりましょう、というものですか。

木野委員 どうしても必要なものなら、指揮法がない教科書は検定で落ちているはずですよ。

石井委員 どれくらいのニーズがあるのかと気になりました。  
中学校は指揮法について学習していると聞きます。小学校はどうなのでしょう。

五十嵐教育長 指揮法の記述がないからといって、教科書としてはダメということはないです。

石井委員 教科書に指揮法の記載がない教育芸術を選んだ場合、指揮をしたいという児童が沢山いたら困るだろうなと思いました。

五十嵐教育長 そういう場合は、教師が指導すると思います。

石井委員 教育出版を選べば、そういう負担が減るということですね。

五十嵐教育長 木野委員、お願いします。

木野委員 指揮の問題もありますが、全体を眺めた時に教育芸術社の方が見やすく馴染みやすいという印象を受けます。

五十嵐教育長 子どもは一般的に音楽が好きなのですが、やはりとっつきやすさや、やりたいという気持ちを促すことや、子どもの意欲を高めるという意味では、教育芸術社が優れていると思います。

大体ご意見は得たと思ひまして、総合的に教育芸術社の評価が高かったと思いますが、教育芸術社でよろしいでしょうか。

委員 (承認)

五十嵐教育長 では、音楽は教育芸術社に決定いたします。

続いて、図画工作の審議をしまひります。図画工作も2社になります。  
それでは、委員の皆さんからご意見いただきたいと思ひます。

はい、松浦委員お願いします。

松浦委員 日本文教出版が、まず最初、囲碁とか形という日常にあるものからスタートしているところに好感を持ちました。図工と言うのは苦手な子がいる

と思うのですが、「鑑賞」とか「発想」とかが入っていて、苦手な子たちのヒントになるところがより多かったと思いました。表現方法についても、「光と影」とか「消して書く」とか、徹したような表現方法が提示されているところも、とても面白いと思いました。

五十嵐教育長 ありがとうございます。

石井委員お願いします。

石井委員 教科書を見て説明どおり作れそうだったのは、日本文教出版だと思いました。こんなものという作り方ではなく、見せ方であれば開隆堂出版が良いと思いました。教科書通り教えるのかどうか、そこが先生ごとに分かれると思います。

五十嵐教育長 どちらの教科書が、より説明が親切ですか。

石井委員 日本文教出版社です。教科書の手順通り作れないから、子どもたちは苦手なんですよね。

松浦委員 そうですね。

篠部委員 初めて見る本であれば、日本教育出版の方が一から書いてあるということですから丁寧ですね。

どうしても理解できない子には、先生がサポートしてあげるとか、作品を見たことない人にとっては、筆の使い方ひとつをとっても良いと思いました。

五十嵐教育長 では木野委員お願いします。

木野委員 教科書は全て確認できていないのですが、報告書によりますと、「インクルーシブの観点」では開隆堂も日本教育出版も配慮をされていますし、開隆堂はA評価となっています。「様々な方法で、自己表現をする力を引き出す工夫がされているか」のところでは、日本文教出版は「一つの題材の中に複数の実践パターンが示され、児童の実態に応じた活動や、表現の多様性を引き出す工夫がされている」と評価されており、日本文教出版は多様性やインクルーシブな観点では優れていると思いました。

五十嵐教育長 どちらも個性が違い、色んな例を出して子どもの意欲を喚起しようとするものと、こういう風にやっていけばいいという子どもたちに見通しを持

たせるようにして作られているものと、大きく差はあるのですが、私は子どもたちがこんなのもあんなものもある、これやってみたい、という意識付けの方が大事だと思うので、そういう意味では日本文教出版が良いと思いました。

今の話では、子どもたちに多様な考えや表現や作品を見る力を付けたいと考えるなら、事例が多い方が良いのかと思います。それでいくと日本文教出版が良いと思いますが、いかがでしょうか。

委員 (承認)

五十嵐教育長 それでは、図画工作については、日本文教出版ということにいたします。続いて、家庭科の審議をいたします。家庭科も2社ということになっています。

調査員の評価がほぼ拮抗しておりますので、皆さんの意見を十分に踏まえた上で、どちらかに決めたいと思います。

石井委員お願いします。

石井委員 東京書籍の方が親切かなと思います。僕は裁縫ができないのですが、開隆堂出版では見ながらも裁縫ができないなと思いました。調理実習とか、実習が多いかどうかですね。座学が多いなら開隆堂が良いかと思いました。が、実習はそんなに多くないですよ。月に1度くらいですか。

山口課長 月に何度もないと思います。作品も一度作ろうと思えば、結構な時間を要しますので。

五十嵐教育長 実習といえば、調理実習くらいですよ。

山口課長 特に昨今はコロナのこともありますので、そういう活動も減っていたと思います。

石井委員 コロナが明けても劇的に増える訳ではないですね。

山口課長 そうです。

石井委員 松浦委員が経験上、詳しいと思いますが、東京書籍の方が実践的な気がしたんですが、いかがですか。

松浦委員 確かに、見やすくて分かりやすさは東京書籍の方がありますね。

先ほどから出ている、オンラインとかタブレットとの関連はどうなんで

- しょうか。
- 石井委員            どちらも動画が見られるようですね。
- 木野委員            どちらも分かりやすく、甲乙つけがたいですね。
- 松浦委員            宝塚の子どもたちが地域との関わりが少ないという課題がありましたね。その視点で見ると開隆堂の方が「関わりを見つける」とか「考える」とか「行動する」とか「交流する」とか、そういうところが多く書かれていたと思います。「社会でつながる実践例」とか、より多かった気がします。
- 五十嵐教育長        差があまりないなと思っています。ただ、今話題にあったように、学んだことをこれからの生活に活かすという視点でいうと、開隆堂の方が記述が多い様に思いますが、それによって決定的に良いという訳でもないですね。これは本当に難しいですね。
- 木野委員            決定的という訳ではないのですが、調査研究報告書の一段上の「カリキュラム・マネジメントを効果的に進める配慮」というところでA評価とB評価に分かれていて、開隆堂がよりSDGsに配慮しているという評価で、その差だと思いますが、そこを意識されているのも良いと思います。
- 五十嵐教育長        他にご意見ございますか。
- 委員                    (なし)
- 五十嵐教育長        どちらに決定してもおかしくないのですが、今のご意見をまとめると、開隆堂の教科書を使って積極的に子どもたちに授業展開していくというこ  
とで良いのではないかという意見がありましたので、開隆堂に決定いたします。
- 委員                    よろしいでしょうか。
- 委員                    (承認)
- 五十嵐教育長        では続いて、体育保健の審議に入ります。
- 体育保健は6社と少し多いのですが、ご覧いただいてご意見をいただきたいと思います。
- 石井委員、お願いします。
- 石井委員            性教育と薬物の件では、東京書籍がいいと思いました。
- 宝塚市が性教育をどう考えているか、ということもありますが。

- 五十嵐教育長 宝塚市は性教育については先進的に取り組んでいると、自負しています。
- 木野委員 調査研究報告書で性教育のところの調査観点でA評価がついているのは東京書籍だけですし、A評価の数も3つと他社より多いです。他はA評価が最大1つという状況ですね。
- 松浦委員 性教育や薬物、飲酒などに加えて、あと携帯電話の健康への影響や、自然災害にも触れられていたと思いますので、私も東京書籍が良いと思います。
- 五十嵐教育長 篠部委員、東京書籍でよろしいでしょうか。
- 篠部委員 はい。
- 五十嵐教育長 それでは、体育保健では皆さんの意見が一致していたと思いますので、東京書籍で決定します。
- 委員 (承認)
- 五十嵐教育長 続いて、外国語の審議に入ります。
- 外国語も6社と多いです。最初に事務局に確認しますが、調査研究報告書を見るとC評価が結構目立つのですが、これについて何か調査員の意見があれば先に伺えますか。
- 山口課長 C評価に関しましては、外国語に限らず、どの調査委員会でも国が認めた教科書であることを前提としつつ、子どもたちに教える際や、先生たちが使う際に扱いづらいと感じた部分について、C評価を付けたということです。
- 五十嵐教育長 教科書の中身が悪いのではなくて、使うに当たり今の宝塚市の状況では使い辛い部分があるのではないかと、ということですね。
- それでは委員の皆さん、ご意見を伺います。
- 石井委員、お願いします。
- 石井委員 デジタル教科書も含めてだと思いますが、教科書は使わずにタブレットのみで授業する、というところまで考えての評価ですか。
- 山口課長 そこまでは調査員も考えてはいないですね。基本的には紙ベースのところで評価しています。ただ今回は、デジタル教科書も調査研究に含めることができるかと国からも通知がありましたので、調査員にもデジタル教科書

を見てもらい、それぞれ特徴等を捉えてもらいました。

調査研究報告書の中に具体的には記載していないのは、特に甲乙つけがたく優劣というのを感じられるところはなかったということです。まずは紙の教科書の中身をしっかり確認するというので、調査研究報告書を作成してもらいました。石井委員の仰ったように、デジタル教科書だけで授業を展開するわけではないですし、子どもたちに教えるに当たって紙の教科書若しくは黒板等を使った学習の方が効果的だと思えば、先生方はそれを選択すると思います。

石井委員            ありがとうございます。教育出版が学習意欲のところでC評価が付いていて、ここは私も使いにくいと思いました。この部分では、デジタル教科書について判断材料に含めているのですが、紙ベースで評価することが基本だとすると、評価内容が変わってくるのではないかと思います。

山口課長            ここでいうのは、デジタル教科書の評価というよりも動画コンテンツ、二次元コードのことです。

調査研究報告書の「学習意欲の向上につながる工夫」がC評価の教育出版では、アルファベットの大文字小文字の標記が表裏になっているところで評価をされているということです。

石井委員            動画で表裏になっているところですか。見ていないな。

五十嵐教育長        アルファベットの大文字小文字が表裏になっているというのは、具体的にはどういうことですか。

石井委員            動画のアルファベットの表裏とは、表現しませんね。

木野委員            又は、とあるので別の話ですね。

松浦委員            このことではないですか。カードが表と裏ということではないですか。

五十嵐教育長        ちょっと分かりにくい表現になっていますが、使い辛い、という意味での評価になっているようです。一方、開隆堂でもC評価があるのですが、良い教科書を作ろうとしているのは認められるが、まだ小学生には難しく、一歩先の取組なために教師には使い辛いだろうという意味での評価になっています。

では、木野委員。

木野委員 啓林館の本が見やすいと思いました。工夫がありまして、5年生の教科書の中にある頻度を表す副詞で、「毎回=A l w a y s」「大抵=U s u a l l y」「時々=S o m e t i m e s」、「毎回」は黒丸3つ、「大抵」は3分の2ぐらい、「時々」は3回に1回というS o m e t i m e sとかの感覚が日本人には難しいので、視覚的に表す工夫がされていて分かりやすいです。また、報告書にもありますが、動画再生スピードを「0.5」～「2.0」まで設定を変えられるところが魅力的であること、「国際理解の観点から自国の文化とその良さに気づき」という観点で6年生の「ウェルカムトゥージャパン」という項目があり、日本の魅力を伝えるところがありますので、調査の観点とも合致しており、評価したいところです。

五十嵐教育長 ありがとうございます。他にご意見はございますか。  
松浦委員。

松浦委員 光村図書が良いと思いました。5年生の教科書ですが、「エブリワンイズスペシャル」の詩を作ろう、というところがありまして、単に読み書きや聞き取りだけではなく、詩とか文章という言語表現への学習のアプローチがあるところが良いと思いました。

五十嵐教育長 今、啓林館、光村図書が良いという声がありますが、皆さん他にはどうですか。  
では、石井委員。

石井委員 英語はどの先生でも発音を気にされると思うのですが、啓林館と東京書籍の教科書では二次元コードであったりデジタル教科書であったり、その部分をお任せできるのはすごく使いやすいと思いました。

五十嵐教育長 今、6社のうち、東京書籍、啓林館、光村図書と3社が挙がっていますが、もう少し議論していただきたいと思います。  
では、篠部委員。

篠部委員 啓林館が発音のところ、分かりやすいと思いました。中学校になると読み書きが多くなってきますが、小学校の時は発音で音に出して外国語に触れるというのが大切だと思うので、そういう部分では良いと思いました。

五十嵐教育長 先ほど見ましたが、啓林館が動画再生のスピードを自分で変えられると

というのは、自主学習ができるという部分では面白いなと思いました。

外国語については3社について審議をしてきましたが、啓林館が一步、発音も含めて子どもたちが取り組みやすいのではないかというご意見でまとめてもよろしいでしょうか。

委員 (承認)

五十嵐教育長 それでは、外国語については啓林館で決定いたします。

続いて道徳について、道徳も6社と出版社が多いです。

それでは、道徳についてのご意見をお願いします。

石井委員 まず、質問をいいですか。

五十嵐教育長 質問をどうぞ。

石井委員 各社の教科書のボリュームが随分違いますね。学校で道徳はどのくらいの授業をするのですか。国語の教科書と変わらないくらいの量があり、授業で全ては読めないのではないですか。

平野課長 道徳は全部で35時間あって、兵庫県は副教材もあり、それも授業で使うことになっています。35時間のうち、28～30時間はこの教科書を使用することになっています。後の5～6時間くらいは、副教材を使うことになっています。単元があり、テーマが「平和」であるとか、その中で重ならないように22～24項目を必ず学習していくということになっています。

高田部長 国語は年間何時間ありますか。

山口課長 学年によって違いますが。

平野課長 週2～5時間勉強しています。

高田部長 道徳とどのくらい違いますか。

平野課長 道徳は週1時間で、年間35時間です。

高田部長 他の教科からすると半分くらいですか。

平野課長 3分の1か4分の1くらいです。

石井委員 道徳の教科書は全部読めないですね。

平野課長 全部読まなくても良いことになっています。35時間の内、1つの単元を1時間で学習するとしたら、28単元をこの中から選んで授業するとい

うことです。

石井委員 国語科でも、内容量が多いので1年間でぎりぎり読めるというぐらいです  
すね。

五十嵐教育長 道徳はこの教科書の裏面に内容項目というのが決められていまして、その項目に従って教科書は構成されています。兵庫県の場合は、郷土を知ろうという意味で県が作った道徳の本もありますので、そこからすると35時間の内、20数時間することになります。1時間に1教材することになっても20数個しかできないことになります。内容項目に沿って各校が既に道徳のカリキュラムを作っていますので、道徳については現在、宝塚でしている道徳と関連性の強い部分を取り入れられているか、確認したいと思っています。

石井委員 情報系、情報モラルも道徳ですか。

山口課長 情報モラルに関しましては、道徳の授業のなかで行う学校もあるのですが、情報モラルと言うのは、例えば著作権の事だとか、一つの教科のみでなく様々な教科で横断的に取扱うことにはなります。教科の中でそれに関係する内容があれば、その中で取り扱われていると思います。

石井委員 いじめの中に含まれる要素だったりしますね。

五十嵐教育長 はい、木野委員お願いします。

木野委員 調査研究報告書の「宝塚市教育振興基本計画の「生きる力」を育むための6つの基本方針の達成に適した内容であるか」では全社A評価が付いているのですが、ここの特に多様性というところを注目してみました。基本方針の1つに「命の大切さや多様性について理解して思いやりの心のある子どもを育てます」があり、宝塚市では多様性について力を入れていますので、その辺を意識して教科書を拝見しました。教育出版では最初のページには肌の黒っぽい子どもが出てきたり、車いすの子がいたり印象づけていたのですが、中身の方はほとんど同じ肌の色で、車いすの場面が出てきたのは6年間で1度だけということでした。多様性という観点からすると、最初のページだけで印象づけるのではなく、中身にも意識して欲しいと思いました。日本文教出版では、4人の登場人物が感想を述べていくん

ですが、男の子2人と女の子2人の中に少し肌の色が濃いエイト君と言う子がいて、その辺はしっかり意識されているのかなと感じました。光文書院については、比較的そういう意味では外国人らしい子どもが出てきたり、ところどころ学級のシーンなどで自然に肌の黒い子が入っていたりしました。どの教科書も差別は良くないですよという話があったり、外国人の文化の違いを学びましょうという場面がありますが、差別を止めましょうという項目でそういう場面が出るのはある意味当たり前ですし、自然にクラスに外国人の子がいても珍しくない時代になってきていますので、「差別はやめましょう」や「国際交流」というテーマでない場面でも、自然に色んな人がいる、車いすの子がいたり、障害のある子がいたり、違う子がいたりという時代になって欲しいと思います。そういう意味では光文書院では自然に描かれているという感じがしました。学研についても、最初のページでしか肌の黒い子と車いすの子が見られませんでした。パラリンピックというテーマの時は障害者が出てきますが、通常の学級会とかクラスルームのところは、皆、肌の色が同じです。多様性という観点からは、時代の変化に追いついていないのかな、という感想を持ちました。描かれる作者にお任せしているのかもしれませんが、今は多様性の時代だから多様な人種を登場させるよう作者に注文する、あるいはそういう事を自然にできる作者をメーカーが選ぶとか、そういった意識を持って欲しいと思いました。

五十嵐教育長  
松浦委員

松浦委員。

選定委員の方で、宝塚独自の調査観点のところで、特に「対話的な授業になるような工夫がしているか。（道徳的価値を示しすぎているか。）」を重視したとありましたが、学研は主眼を明記していないので自由に考えられ、道徳的価値に誘導していないところが良いと思いました。気になったところは、日本文教出版では、1年生で家の仕事は大変そうなのにお母さんはルンルンルンとか、いじめっ子がキツネの男の子でいじめられているのがウサギの女の子というような、ジェンダーの視点で見た時に内容が気になりました。

- 五十嵐教育長 石井委員お願いします。
- 石井委員 ある程度答えを示してそれを討論させる、というのはありかと思えます。年間を通じたテーマを決めて予定を建てるという事でしたが、いじめや命というテーマは、学校単位で決めるのですか。
- 五十嵐教育長 今、宝塚市では、各学校が内容項目に沿って人権のカリキュラムを作っていますから、このテーマでこの授業、この教材ということですか。
- 石井委員 教科書を見てテーマを決めているのですか。
- 五十嵐教育長 道徳が教科になる以前から、宝塚市では道徳のカリキュラムを作っていますので、今まで各校の授業で行っていたテーマに合うものを教科書から選ぶということです。
- 石井委員 テーマを網羅していない教科書はあるのですか。
- 五十嵐教育長 いえ、全て網羅しています。内容項目は全て網羅しています。今出てきた意見としてはジェンダーや多様性という観点からいくと、光文書院あるいは学研教育みらいではないか、という意見が出ています。内容項目につきましては、どの会社も網羅されています。
- 石井委員 学研教育みらいは、未来の話が教科書にありました。
- 五十嵐教育長 教科書裏面に内容項目が一覧になっていて、そこにどの教材があてはまるか書いてあると思います。大体、どの教科書もそんな作りかと思えます。
- 石井委員 未来と言っても、キャリアとかそういう話ではないのですね。未来は地球の未来と、仕事の未来。それはどちらでもいいです、未来は未来なので。
- 五十嵐教育長 どちらも答えはありませんので。
- 石井委員 議論する対象が変わってくると思いました。
- 五十嵐教育長 内容項目に「未来」というのがあったのでしょうか。
- 平野課長 内容項目に未来はないのですが、例えば主として自分自身に関することというくくりの中で、「最善の判断・自立・自由と責任」というのが一つの大きなくくり、「正直誠実」が一つのくくり、「節度・節制個性の伸張」これらが20の項目が含まれています。
- 石井委員 今、学研教育みらいですか。

- 山口課長 学研教育みらいです。
- 石井委員 なるほど、結構具体的な項目なんですね。
- 五十嵐教育長 内容項目は非常に固く、正義だとか誠実とか、節度節制とか、個性の伸長とか、そういう枠組みの中で未来の話が自分の話になってきたら、この内容項目ではどこに入るか教科書会社によって話の内容によって違ってきます。
- 木野委員 これは全学年、同じ内容項目ですね。
- 五十嵐教育長 一緒です。
- 石井委員 そこに合わせて選ぶということですね。
- 五十嵐教育長 出版社が教材を選んで、内容項目に当てはめているということです。
- 石井委員 学校がこの題材でいこう、と決めるということですね。
- 五十嵐教育長 学校も今までの道徳の実績があるので、新しい教科書に合わせてこれまでの取組をがらっと変えるのではなく、これまで学校で大事にしていた道徳人権の学習のカリキュラムの中にしっかり当てはめてやっていこうということですね。
- 石井委員 この場では何を基準に決めていけば良いですか。
- 五十嵐教育長 今、子どもたちに、例えばジェンダーや多様性を入れたいなという気持ちとか、宝塚市で大事にしたいという思いを教科書に取り入れられているところを選ぶのが妥当だと思います。
- 篠部委員。
- 篠部委員 先ほど教育長が仰られたように、ジェンダー・多様性という部分では光文書院か学研教育みらいが良いと思いますが、日本文教出版では、人物紹介で手塚治虫を載せていますが、その部分は付度しなくていいのですか。
- 五十嵐教育長 手塚治虫は県の道徳の副読本に入っていないですか。既に子どもたちの手にあると思っていいです。内容は違うと思いますが。
- 石井委員 ジェンダーという項目は、今はもう無いんですね。
- 山口課長 おそらく、「相互理解」「寛容」という中で扱うと思います。
- 松浦委員 L G B T Qは保健で扱うのですね。
- 山口課長 どの教科で扱うかは先生や学校によって違うと思います。

- 石井委員 道徳で扱うと思っていました。
- 五十嵐教育長 教えたくても教材が無い、というのは回避しないとイケないですね。
- 五十嵐教育長 そもそも道徳は教科化されたのは最近の話ですから、それ以前も教科書が無い中で特別な時間としてありましたし、教師が子どもを目の前にしてどんな力を付けたいのかということを考えながら、自分たちで授業を作ってきました。
- 石井委員 道徳にジェンダーが無いなら、用意したらダメなのですか。
- 五十嵐教育長 別に道徳で扱わなくても総合的な学習時間を使って国際理解教育の中で多様性を学んだり、あるいはジェンダーの問題も入ってきたり、SDGsなど色んな教科でできます。それは学校サイドでいくらでもやれます。
- 石井委員 道徳の教科書にジェンダーのことが載ってなくても、色んな科目で学べるということですね。
- 五十嵐教育長 教育課程の編成は学校側にありますから、学校でそれが優先的な内容だと思ったら、授業でしていただいて結構です。
- 山口課長 ちなみに学校保健の方で選んでいただいた東京書籍の中に、SOGIの内容が含まれています。
- 五十嵐教育長 今回の話の中では光文書院と学研教育みらいの2社で、他には特にここが良いというものがなかったように思います。道徳は算数や国語の教科書と違って、毎時間教科書を持ち出して、隅から隅まで勉強するというものではないので。
- 篠部委員 光文書院と学研教育みらいか、どちらかで議論していただきましょうか。
- 篠部委員 この2社の中で、光文書院は構成についてテーマごとに後ろに考えよう・まとめよう・広げよう、という質問項目が書いてありますね。これは、先生としては授業がやりやすいと思います。得意な先生もあれば苦手な先生もいると思うのですが、そのとおり授業を進めていけます。そういう意味では先生の負担はちょっと軽くなるかなと思いました。
- 石井委員 でも調査研究報告書の調査項目に「対話的な授業になるような工夫がしているか」と書いてありますね。
- 木野委員 それを誘導的とするか、ですね。報告書では光文書院が“誘導的であ

る”という指摘があり、B評価ですね。学研教育みらいの方が、価値を押し付けていないというところで評価されていますね。

石井委員 キャリアパスポートは、小学校でしたか。

高田部長 中学校でも使うと思います。

石井委員 授業としては総合の授業になるのですか。

山口課長 多いのは総合の授業でしょうね。

石井委員 学研教育みらいはそこが強いと思うんです。自分の夢を書かせていたり。

五十嵐教育長 道徳的な価値が皆それぞれある教材です。その価値にもっていかうとする授業なのか、それは子どもたちが価値をどう捉えていくのかということになると思います。ゴールを押し付けない、多様な考えを出すようなことに重点を置くか、ということになると思うのですが、後者でなければいけないと思っています。道徳的な価値について、これをやったらこういうことが分かったでしょ、こんな子どもになったでしょ、とかゴールを出せませんから。そこが教科書会社の姿勢として出ているなら、最初から価値を押し付けるようなところでないところを選びたいと思います。

石井委員 先ほどのキャリアのところは、そこを使わなければいいので。

五十嵐教育長 それだけではないのですが、大きな分かれ目だと思います。

石井委員 多分、それぞれの価値についてある程度のことが書いている指導書があるんでしょうね。

山口課長 大体の指導書には、子どもたちからにこういう対話を引き出したいとか、こういうことを考えさせたいとか、こういった事に対して議論させたいとか、授業の中で先生方が進めるに当たってどう1時間を構成するかというところの手引きになっているということで、こういう風に教えなさいということではないですね。

石井委員 これを1時間で考えなさいと授業で投げられたところで、答え出すものじゃないと思うのですが。

五十嵐教育長 これからの子どもたちにはその力が必要だと思います。

石井委員 指導書にある程度何か授業を構成する参考があるなら、先生も困らないと思います。

五十嵐教育長 指導書の内容までは分からないのですが、教科書である以上、指導書は付いてきますね。

石井委員 答えが出ないから次の授業に来週持ち越し、なんてことは出来ないでしょうね。

五十嵐教育長 授業では、答えがでなかったらそれでも良いですよ。

例えば算数の授業で「 $1+1$ 」の答えが「2」と「3」で決まらないなら困ると思いますが、性質が全く違いますね。子どもたちが同じ事に対して、一生懸命考えたということに値打ちがあるので、それぞれの子どもがそれぞれの答えを引き出してきたということを確認合う、その先には違った答えが折り合っていて世の中ができあがっていくのだろうということを学んでいく。今までは一つの答えを一生懸命、皆で追いかけていましたが、これからはそういうことが大切だなと思います。

石井委員 評価も、その過程を評価するということですか。

五十嵐教育長 道徳の評価はそもそも難しいのですが、今後なお一層難しくなりますね。

子どもの様子を見ていないと評価もできない。テストして答えを出すものではないですから。いかに子どもの様子をちゃんと教師が見ていくかです。

石井委員 先生方の働き方改革を考えた時に、負担が増えそうな気がするのですが。

五十嵐教育長 今、新しい教育の形を作らないといけないと国もいっていて、現場でも動いている中で、評価についてもこれまでのやり方ではなく違うやり方を出さざるを得ないと思います。今、丁度過渡期ですから、現場の先生は大変だと思います。

道徳についての子どもたちの評価はしていませんよね。

山口課長 しています。文章標記でしています。

五十嵐教育長 文章標記ですか。「A」だとか「B」だとか「○」とか「×」とかでなくて、こんなことを頑張りましたとか、こんなことを言っていた、という文章表記で子どもの評価をやっています。

石井委員 今、既にそういう評価をしているのですね。

山口課長 道徳の授業、教科化された時にも、学校では評価の方法についてどうし

ていくのか、というところは大分議論になった部分でした。授業を通して子どもたちの考え方にどういう変化があったか、というところが大事で、ワークシートの構成ですとか、そういったところで、両方を捉えられるような形で構成ですとか、色々確保に工夫をしているところです。

石井委員 履歴過程を残して、ということですね。自由度を残しているのので、学研教育みらいの教科書が良いですね。

五十嵐教育長 では、今の話の中で、姿勢として学研教育みらいの教科書を採択するということがよろしいでしょうか。

委員 (承認)

五十嵐教育長 それでは道徳については、学研教育みらいにいたします。  
ありがとうございました。

では、最後に特別支援学校及び特別支援学級用の教科用図書につきましては、先ほどの説明にもありましたが、従来のものの内33冊を削除しまして15冊を新たに加えて、一覧に記載されている296冊の図書を一括して採択することとします。そのことについては、ご承認いただけますでしょうか。

委員 (承認)

五十嵐教育長 それでは、議案第16号 令和6年度使用宝塚市公立学校教科用図書の採択について、報告事項 令和6年度使用宝塚市公立学校教科用図書採択に係る調査研究についての答申の受領について、は以上とします。

中学校用教科用図書につきましては、令和2年度に採択したものと同一のものを採択することとします。よろしいでしょうか。

委員 (承認)

五十嵐教育長 本日の予定の案件は以上ですが、他にご報告いただくことはございますか。

石井委員 一般図書は普通教室には置かれていないのですか。支援級の教室に置かれていて、普通級の子どもが見たいと思っても見れないのですか。普通教室の子にも良いと思う本がありましたので。

五十嵐教育長 基本的には、特別支援学級だけです。

山口課長 一般図書というのが、特別支援学級の一人ひとりの子どもたちの障碍の程

度や状態に応じて先生が決めています。普通級の子どもたちは、今の扱いであると検定本を無償給与されて勉強していることになります。

石井委員 教科書として配布しているのですね。置いてあるわけではないのか。なるほど、分かりました。

教科書の展示会に行ったのですが、撮影禁止がゆえにスマホ出せなくてQRコードが読めなかったんです。

次回以降になると思いますが、一般の方も見たいと思うので、撮影禁止では難しいとは思いますが、何か検討ください。

山口課長 一応、コピーは取っていただけますので、そこからQRコードを読むということは可能ではありますが、今後、検討したいと思います。

五十嵐教育長 ありがとうございます。今後、検討したいと思います。

以上で、議案、報告事項終了いたしました。他にご報告いただくことはございますか。

板垣係長 ございません。

五十嵐教育長 それでは本日は以上となりますので、教育委員会を閉会いたします。

どうもありがとうございました。

閉会 午後 4時15分